



▲教えてもらいながら、楽しそうに陶芸に取り組む児童たち

「伝統の技」上野焼に挑戦！

世界にひとつのオリジナル陶器

10月9日、鎮西小学校で5年生の児童約60人が上野焼の陶芸家から指導を受けながら、陶芸に挑戦しました。

これは、作品を作る体験を通して、地域の伝統的工芸品を子どもたちに親んでもらおうと上野焼協同組合が毎年田川市郡の小学校で行っているもの。初めて体験する児童たちが多く、四苦八苦しながらも作品を完成させていました。

茶碗を作った松田奈津未さんは「陶芸体験は初めて。難しかったけど、とても楽しかったです」と大きな笑顔。指導にあたった堀田薫の世良萌久美さんは「子どもたちのアイデアの豊富さに驚きました。たくさんかわいい作品ができてよかったです」と話しました。

地域を学び、社会を学ぼう

大藪小学校で公開授業

10月12日、大藪小学校で第55回福岡県小学校社会科教育研究大会が開催され、田川の歴史や文化などをテーマにした公開授業が行われました。

すべての学級で「むかしあそび」や「地域探検」、「トマト生産農家から見る野菜づくり」などについて、地域の高齢者や専門家などを講師に招いた授業が行われ、子どもたちが実際に体験したり、調べたことを発表したりする姿を、県内の小学校教諭約200人が見学しました。

むかしあそびでけん玉に挑戦した下條紗良さん（1年生）は「最初はうまくできなかったけど、教えてもらってお皿に玉が乗るようになりました」と嬉しそうに話しました。



▲地域探検で見つけたすてきな人を発表しました

夢を持ち続けよう

元Jリーガーが田川小で特別授業

10月10日、田川小学校の5年生児童33人を対象に、元Jリーガーで、現在はサッカーJ2アビスパ福岡の18歳以下のコーチである井上孝浩さんが、日本サッカー協会が取り組む「夢の教室」事業の一環として特別授業を行いました。

井上さんは、体育館でボールを使ったゲームなどを行い、チームで協力することの大切さなどを指導。引き続き、会場を教室に移し、自身の経験を交えながら、夢を持って生きていくことの大事さを子どもたちに語りかけました。

将来の夢はプロ野球選手だという田染大空くんは「骨折しても、そこからやり直してプロ選手になった井上先生はすごいなと思いました」と話しました。



▲夢を持って、自分と向き合ってくださいと話す井上さん